

令和元年度県民アンケート調査（確報）結果 要点について

総務部知事公室 統計分析課

1 生活全般について(経年変化をみる項目 一部除きH20から実施)

- 現在の暮らし向きに満足している人の割合は63.6%で、昨年度から減少。 【問1】
「満足している」 + 「十分とはいえないが一応満足している」
0.2ポイント減少 (H30:63.8%→R1:63.6%)
- 昨年と比較して暮らし向きが苦しくなった人の割合は32.8%で、昨年度から増加。 【問2】
「少し苦しくなった」 + 「とても苦しくなった」 1.6ポイント増加 (H30:31.2%→R1:32.8%)
- 暮らし向きが「苦しくなった」理由の1位は、「給料や収益が増えない、または減少したから」(58.6%) 【問4】
- 日常生活で悩みや不安を「感じている人」の割合は82.0%と昨年度から増加し、「感じていない人」の割合は16.9%と昨年度から減少。 【問5】
 - ・「悩みや不安を感じている」 …2.5ポイント増加 (H30:79.5%→R1:82.0%)
 - ・「悩みや不安を感じていない」 …1.5ポイント減少 (H30:18.4%→R1:16.9%)
- 奈良県が住みやすいと感じている人の割合は63.8%で、昨年度から減少。 【問7】
「とても住みやすい」 + 「どちらかといえば住みやすい」 1.1ポイント減少 (H30:64.9%→R1:63.8%)

2 生活に関する重要度・満足度(経年変化をみる項目 H20から実施 5段階ポイント評価)

- 平均ポイントは、満足度は横ばい(H30:2.96→R1:2.96) 【問11】
重要度は0.01ポイント増加(H30:3.96→R1:3.97)
- 重要度の1位…「急病時に診てもらえる医療機関があること」
0.01ポイント増加 (H30:4.57 1位 → R1:4.58 1位)
- 満足度の1位…「文化遺産や史跡が大事にされること」
0.06ポイント増加 (H30:3.51 1位 → R1:3.57 1位)

3 奈良県への愛着について(今年のテーマ項目)

- 奈良県への愛着があると答えた人の割合は77.3%で、H30年度から増加。 【問12】
「とても愛着がある」 + 「やや愛着がある」 3.2ポイント増加 (H30:74.1%→R1:77.3%)

4 文化振興について(今年のテーマ項目)

- この1年間に文化活動又は文化鑑賞をした人の割合は54.1%で、昨年度から増加。 【問13】
「文化活動と文化鑑賞をした」 + 「文化活動だけをした」 + 「文化鑑賞だけをした」
9.1ポイント増加 (H30:45.0%→R1:54.1%)
- ムジークフェストならの認知度は39.1%で、昨年度から増加。 【問14】
「知っている」 4.9ポイント増加 (H30:34.2%→R1:39.1%)

5 スポーツ振興について(今年のテーマ項目)

- この1年間に1日でも運動・スポーツを行った人の割合は53.8%で、昨年度から減少。 【問18】
0.2ポイント減少 (H30:54.0%→R1:53.8%)
- この1年間に行った運動の種類で最も多いのは「ウォーキング」(53.3%) 【問19】

6 食品ロス削減について(今年のテーマ項目)

- 「食品ロス」問題の認知度は87.1%。 【問20】
「よく知っている」+「ある程度知っている」
- 「食品ロス」削減への取り組みについて最も多いのは「残さず食べる」(68.9%) 【問21】

7 安全・安心の確保について(今年のテーマ項目)

- 奈良県の治安情勢を良いと感じている人の割合は49.7%で、H29より増加。 【問22】
「良い」+「やや良い」 7.4ポイント増加 (H29:42.3%→R1:49.7%)
- 自然災害に対して日頃から備えていることで最も多いのは「水、食料、救急医療品、懐中電灯、ラジオなどの防災用品の備蓄」(52.0%) 【問26】
- 自転車事故を起こした場合に損害賠償が可能となるため加入している損害賠償保険や自転車保険の種類で最も多いのは「自動車保険、火災保険、傷害保険の特約」(23.8%) 【問29】

8 雇用について(今年のテーマ項目)

- 県内で仕事をしている・希望する理由で最も多いのは「通勤時間が短い」(56.0%) 【問35】
- 県外で仕事をしている・希望する理由で最も多いのは「県外の方が勤務条件(給与・休暇等)が良い」(47.4%)

9 少子化対策について(今年のテーマ項目)

- 子育てに関する6項目の全ての満足度は、H30と比較して全ての項目が減少している。 【問39】
6項目の中で最も高いのは、「社会的に自立できる子どもが育っている」
0.01ポイント減少 (H30:3.06→R1:3.05)

10 女性の活躍推進について(今年のテーマ項目)

- 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考えに反対の人の割合は53.9%でH29より増加。反対と答えた人の割合を年齢別にみると、20歳代では70.7%と最も高く、70歳代以上では38.6%と4割未満になった。 【問40】
「反対」+「どちらかといえば反対」 4.2ポイント増加 (H29:49.7%→R1:53.9%)
- 女性の活躍への考え方の4項目の中で、思うと回答した人が最も多いのは「企業は、女性が仕事を続けられるような就業環境を整備すべきだ」(87.7%) 【問41】
「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」

11 景観・環境の保全について(今年のテーマ項目)

- 地域で景観を損ねていると感じるもので最も多いのは「道路や河川の雑草」(44.2%) 【問42】
5.9ポイント増加 (H29:38.3%→R1:44.2%)
- 景観保全に必要な施策で最も多いのは「道路沿いの草刈りなど公共施設の維持管理を推進する」(66.0%) 【問43】
5.6ポイント増加 (H29:60.4%→R1:66.0%)

12 エネルギー政策の推進について(今年のテーマ項目)

- 再生エネルギーに関心ありと答えた人の割合は65.3%でH29より増加。 【問44】
「大いにある」+「少しある」 4.8ポイント増加 (H29:60.5%→R1:65.3%)
- 省エネ・節電のための日常的な取組の中で最も多いのは「不要な照明を消す」(84.4%) 【問46】
1.9ポイント減少 (H29:86.3%→R1:84.4%)

(注) 本資料に表示する数値は、小数第2位または第3位で四捨五入しています。ただし、ポイント差については、四捨五入前の数値で計算しているため、文中に表示する数値の差と一致しない場合があります。